

2020

4月号

あさおふれんず

Asao
friends

発行元：認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

麻生区地域コミュニティ活動支援事業

2019年度実施報告会と、2020年度
応募者公開プレゼンテーションを開催します

麻生区で活動する市民活動団体が、地域でのなかで人が集い、地域に愛着を持ち、お互いの良い関係が築ける、地域の新たなコミュニティづくりにつながる事業を行う場合に、その事業資金の一部を支援しているのが「麻生地域コミュニティ活動支援事業」です。

2008年度から実施しており、多くの団体が活用し、大きく育っています。

■2019年度実施報告会

◆日時 4月8日（水）

13時30分～15時30分

◆場所 麻生市民交流館やまゆり

2階会議室



2019年度公開プレゼンテーションの様子。
やまゆりの理事長、担当理事、区役所まちづくり推進課企画課長ほか、市民活動のオーソリティによる審査が行われる

◆参加団体（順不同）

- ① おもちやと遊びの会
- ② ふらっと新百合ヶ丘
- ③ 音楽で笑顔プロジェクト
- ④ まごころキッチンプロジェクト
- ⑤ 福祉応援！ 王禅寺フリーマーケット実行委員会

■2020年度
応募者公開プレゼンテーション

◆日時 4月15日（水）

13時30分～

◆場所 麻生市民交流館やまゆり

2階会議室

◆参加団体（順不同）

- ① 福祉応援！ 王禅寺フリーマーケット実行委員会
- ② 猫と金魚
- ③ セカンドキャリア支援研究会
- ④ あさお和風の会
- ⑤ ララ・ユリエンヌ
- ⑥ こどもしんぶん部

いずれも麻生区で活動している団体の活動ぶりを知る良い機会です。多くの方が、傍聴されてはいかがでしょうか。

2019年の申請団体による公開プレゼンテーション。それぞれの熱い思いが、傍聴者にもひびくと伝わってくる



「あさお区民記者」大募集！

区民による区民のための
情報発信

麻生区には現在600以上の市民活動団体があります。これらを取り上げ、紹介しているのが「あさお区民記者」です。

2008年の設立から今まで、取材した団体は200余。皆さんに紹介できていない団体がまだまだたくさんあります。

あなたの力を
貸してください

現在、「あさおふれんず」（年3回発行）で市民活動団体を紹介。取材記事はホームページでも見られます。そのほか「やまゆりニュース」（年3回発行、町内会回覧配布）では「A」「S」「A」「O」を頭文字に麻生区の歴史やお役立ち情報、防災計画など、区民に役立つ情報を発信しています。

見学・体験
大歓迎！！

編集会議は毎月第2木曜、15時から16時30分。麻生市民交流館やまゆりの1階サロンで行っています。

●お問合せ先

代表 中島 久幸
（なかしま ひさゆき）

Tel 080・

5087・2665

優美に舞って心身ともに健康に！



全員が心をひとつにして、美しいポーズを決めた

この団体は4歳以上の女子による新体操クラブである。年齢によって3つのクラスに分かれているので、休憩時はオシャベリや明るい笑顔にあふれ微笑ましい。

まずは、その日の課題を音楽なしで、青木先生のかげ声と手拍子で演技するが、あまりまとまりがない。音楽が鳴ると真剣さがまし、回を重ねるごとに見違えるほど揃い、体育館の床を華麗に舞う。手具はボール、フープ（輪）、リボン、クラブ（こん棒）など多彩だ。投げたり、転がしたり、回したりしながら、ときおり決めのポーズをとる。そのとき見せる柔軟な体と笑顔にはビックリする。練習のときはTシャツにタイツ姿だが、本番ではスパンコールやラインス

新百合ヶ丘新体操クラブ

トーンを付けたレオタードに着替え、髪飾りをつけるのでますます見違える。

「新体操が楽しくて、夢中になっている子が上達する」「受験や中学入学の時期に退会者が出るのが悩み」と先生は語った。日本新体操祭、演技発表会、アカシア夏祭り、白山納涼祭などがおこなわれる。今はBクラス（小学5年生以上）募集中。



ボールを落とさないでバランスを保つ練習

取材・文 区民記者 中島久幸

DATA

しんゆりがおかしなそうくらぶ

新百合ヶ丘新体操クラブ

代表：青木 美智子

連絡先：shinyuri rg@gmail.com

設立：1984年4月

会員：67名（女子のみ）助手：女子大生・社会人8名

会費：幼児クラス4000円/月、Aクラス（小学1~4年生）Bクラス（5年生以上）とも5000円/月

入会金：5000円

活動日：毎週水曜、幼児クラス15時30分~16時30分、

Aクラス17時30分~19時、Bクラス19時~20時30分

活動場所：麻生小学校体育館、麻生スポーツセンター

URL：https://shinyuri-rg.jimdofree.com/

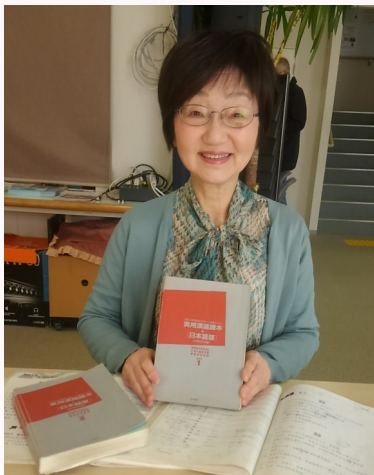
息長く学び続けて19年

この5月で、設立以来19年となる。息長く、着実に活動を続けてきているのは、中国語を学ぶグループ「香香」（シャンシャン）だ。

来日20年以上になる上海出身の女性の先生が、百合ヶ丘で教室を開いたのがスタート。開館とともに「やまゆり」を会場に定めて中国語会話を勉強してきた。

設立時からのメンバーで、長く代表を務める安達佐登子さんによると、教える先生も、月3回のペースも、会費の額も発足以来変わらないという。会員数はいつも3~6人程度と少なめだったが、活動が途切れることはなかった。長続きの理由を安達さんが語る。

「まず先生が素晴らしいこと。人間的にも尊敬できるし、メンバーのレベルがバラバラでも、それぞれに合わせて教えてくれます。それに、こ



代表の安達さんと、学んできたテキストの数々。着実な活動が続いている

香香

れだけ積み重ねてきたんだから、もっともつと続けていきたいという気にもなるんですね」

現在は「やまゆり」で月2回のほか、区内で月1回の活動。中国から取り寄せたテキストで学び、それぞれが文章をつくって発表もする。勉強の合間には、先生から中国人のものの考え方を聞いていたりもする。「違う国ではあっても、言葉をはじめ、いろいろと知れば中国がわかってきます。まずは『知る』ことが大事ですね」とかく微妙な日中関係だが、まずは言葉から相互理解を進めるのもよさそうだ。

取材・文 区民記者 佐藤次郎

DATA

しゃんしゃん

香香

代表：安達 佐登子

連絡先：044-989-2118（安達）

設立：2001年5月

会員：3名

会費：5000円/月

活動日：月3回（火曜）

活動場所：月3回のうち、麻生市民交流館やまゆりで2回。ほかの1回については問い合わせを

夢を追いかけて、わくわく感を大事に！

わくわく会

わくわく会は、アクティブシニア講座の卒業生を中心に発足した夢日和（8期）、きゆうき会（9期）が合併してわくわく会となり、さらに10期の受講生が参加した会である。

地域社会で毎日が充実して、心豊かに生活が送れるよう、「地域社会での仲間づくり活動」、「居場所探し」、「地域活動の実践」を目指すことを目的として活動している。

2019年度は毎月の例会に加え、新たに後半部を会員および会員の知り合いを講師に招いて皆が興味のあるテーマの講演会の実施。さらに会全体の企画としてイスラム教モスクの見学、お花見、麻生の歴史散策、ビール工場見学、暑氣払いなどを行った。



皆でよく飲み、よく語った懇親会

DATA

わくわくかい わくわく会

かじわら やすひろ

代表：梶原 泰裕（2019年度会長）

連絡先：☎080-1922-3757

設立：2018年10月

会員：32名（男性16名、女性16名）

入会金：なし

会費：2000円／年

活動日：例会は毎月1回（金曜または日曜）

活動場所：麻生市民交流館やまゆり

取材・文 区民記者 三好一義

また、分科会は「歴史散策の会」、「ミュージアム探訪の会」、「山歩き」の会」を作り活動を行っているが、今後は趣味・スポーツ・学習・事業などで楽しく夢のある集まりを立ち上げたいとのことであった。

この会の特徴は、現役で働いている方が多く活動日も限られるなか、会員全体で活動する企画が多いことと、会員の半数が女性で活発に活動していることだ。

わくわく会では、いま会員の募集を行っている。入会条件は「やまゆり」で活動しているの、そこで一緒にできる方。まずは会を知って欲しいので月例会を見学してみてください」と梶原会長。

ロバ君作りの手芸で笑顔



オレンジ色のロバは認知症サポーター
キャラバンのマスコットロゴ



こんなロバ君を作っている。配布されるのは小さい方

ロバ君倶楽部（ロバ部）は、認知症サポーター養成講座（以下「講座」という）の出席者に配るロバのマスコットを作るグループである。昨年10月、認知症カフェ「オレンジリング百合ヶ丘」に参加する手芸仲間4人で発足し、いま25人になった。

活動はグループホームの交流室で行い、フェルトをロバ型に切る人、それを縫い合わせる人など黙々と作業が進む。活動は2時間だが、できるのはひとり1〜2個程度。はじめは作業だけだったが、みんなで話したいと最後の30分は楽しいおしゃべりタイムになった。

ロバ君倶楽部（ロバ部）

できあがったロバ君を小学生対象の講座で配ったところ、かわいいと好評で早速キャラバンに下げて帰る子もいたという。いまは高石地域包括支援センター担当地域で開催される講座だけの配布だが、将来は麻生区全体の講座で配りたいという。

自分だけでなく人にも喜んでもらえる、楽しくて充実した時間が手に入る場といえるだろう。

取材・文 区民記者 仲原照男

DATA

くんくらぶ

ロバ君倶楽部（ロバ部）

連絡先：高石地域包括支援センター（担当 倉石）

☎044-959-6020

設立：2019年10月

会員：25名（女性のみ）

入会金：なし

会費：なし

活動日時：原則 毎月第2火曜、第4木曜 13時30分～15時30分

活動場所：新百合丘駅近隣グループホームの交流室など

※現在休会中。4月中旬から再開予定。詳細は照会を。

突撃レポート

シャンソンで地域をつなぐ

ララ・ユリエンヌ

一見敷居が高そうに見えるシャンソンを「さまざまな年代の人たちに気軽に楽しんで欲しい」と、シャンソンを愛好している女性5人が昨年7月に結成した。

メンバーは新百合ヶ丘や百合ヶ丘周辺に住んでいるので、ユリエンヌという造語と、歌の出だしのララを組み合わせる会の名前とした。

昨年10月、多摩区の高齢者施設でボランティア・シャンソンコンサートを開催したのを皮切りに、1月・2月と世田谷の施設数カ所、「シャンソンらしい華やかなドレス」を身にまとい、コンサートを行った。

「シャンソンは本来、身近で親しみやすいのに、どちらかというと歌っている方も聴く方も、比較的年齢層が高めではないでしょうか。自分たちは、幅広い年代にシャンソンの良さを知ってもらうために、何ができるか、新しいアプローチを模索しています」とメンバーの前原則子さんは語る。

5月24日(日)麻生市民交流館やまゆりで実施する「パリはいつだってパリ」では、シャンソンと演劇を組み合わせた新しい取り組みに挑戦する。まだ認知度の低い「ララ・ユリエンヌ」は、この公演を通じて、活動している内容を幅広く区民に知ってもらい、今後企画している「ベビーとママのシャンソンコンサート」「新百合ヶ丘deシャンソニエ」へ繋げていきたいと考えている。

「やまゆり」が目指す「サロン文化の創造」にも相通じる活動でもあり、まだまだ生まれたての卵である同団体が、大きく羽ばたくことを期待したい。

取材・文 区民記者 植木昌昭



昨年10月、よみうりランドケアセンターで行ったコンサート。なじみの名曲「コーヒールンパ」の替え歌「お掃除ルンパ」は会場を大いに盛り上げた



「パリはいつだってパリ」(脚本・山浦弘靖)は5月24日にやまゆりで公演

DATA

ララ・ユリエンヌ

かすが きょうこ
代表: 春日 響子
連絡先: ☎ 080-5486-5417
✉ lalayulienne@gmail.com
設立: 2019年7月
会員: 5名(女性のみ)
会費: 2500円/月
入会金: 5000円
練習場所: 麻生市民館 視聴覚室など

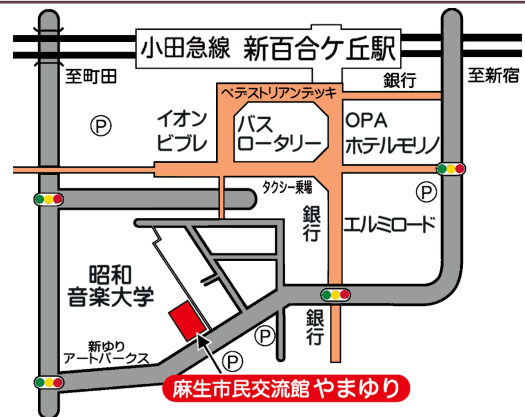
衣装は会場が華やかによくに、綺麗な色のドレスを選ぶようにしている。互いに色がかぶらないよう毎回相談して決めるという心遣いも



取材申込受け付けます! あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<https://www.asao-ku.net>



〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
Tel.044-951-6321 Fax.044-951-6467
URL <https://web-asao.jp/yamayuri/>
Access 小田急線「新百合ヶ丘駅」南口から徒歩4分

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」そんな声に区民記者が応えます。お申込みいただいた内容については編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

●申し込み方法

- ①団体名 ②代表者名 ③連絡先(電話・FAX・メール)
- ④活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

Mail info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。